

【著者略歴】

安井 廣迪（やすい・ひろみち）

1972年 順天堂大学医学部卒業
同年5月 国立東静岡病院勤務
1973年11月 北里研究所附属東洋医学総合研究所勤務
1979年5月 旧西ドイツ・マールブルグ大学およびゲッティンゲン大学にて、ヨーロッパ民間療法および医史学の研究に従事
1981年9月 北里研究所附属東洋医学総合研究所復職
1983年4月 同研究所臨床研究部長
1986年3月 安井病院（現・安井医院）院長
1995年5月～1996年4月
天津中医学院（現・天津中医薬大学）客員教授として天津に滞在。日本漢方各家学説を講義
2004年4月～2008年3月
『漢方の臨床』編集委員会委員長

現在

安井医院院長
天津中医薬大学客員教授
後藤学園学術教育顧問
日本東洋医学会指導医
Acupuncture & Integrative Medicine College, Berkeley 客員教授
“The Journal of KAIM” Associate Editor

著書など

『近世漢方治験選集』（全13巻＋別巻）・解説 名著出版 1985～1987

教育活動

1986年より、三重県湯の山にて、毎年1回約1週間の日程で行われる「医学生のための漢方医学セミナー」を主宰。受講した医学生は、2007年までに延べ600人を超える。
（本書は、その教材として1995年より使用されてきたテキストの改訂版である。）



「医学生のための漢方医学セミナー」
にて講義中の著者